

熱帯医学研究所開設当初の一活動家が語る～

# 「熱帯医学とは何か」

熱研 OB

講演者 **岩永正明先生**

熱帯医学の研究者は、どのような哲学をもって行動するべきなのか、それについて、熱帯医学研究所開設当初の若き活動家達は、真剣に考え議論を戦わした。そして、50年後の今日、熱研の研究者、あるいは、これから熱帯医学に志す若き人々は、熱帯医学を何と考えて日々行動しているのか。熱研初期の若者達が「熱帯医学とは何か」と考え、それぞれに抱いた哲学を、今日の皆さんはどのように思うか、一活動家の行動を紹介しながら、熱帯医学に関する話題を提供したい。  
(一活動家とは演者のことである) —講演要旨より—

会場

長崎大学医学部内  
グローバルヘルス総合研究棟  
1階 / 大セミナー室

2017年 **6月22日** [木]  
18:30-19:30

## — 岩永正明先生ご略歴 —

昭和15年 東京生まれ  
昭和41年 長崎大学医学部卒業  
昭和42年 長崎大学医学部附属病院第二内科入局  
昭和53年 長崎大学熱帯医学研究所 助教授  
昭和58年 琉球大学医学部 教授(細菌学)  
平成16年 琉球大学大学院医学研究科 教授(感染制御医科学)  
平成18年 同上 定年退職  
平成19年 晴風園 今井病院 内科(晴風園熱帯医学研究所 所長)  
現在に至る



インド、クシナガラにて1998 (後列、右側が演者)

お問合せ

: 熱研1階 107Room 須田まで TEL 095-819-7868